

日本弁護士政治連盟  
大阪支部  
ニュース

# 架け橋 Vol.2

発行者/日本弁護士政治連盟大阪支部  
〒530-0047 大阪市北区西天満1-12-5  
電話 06-6364-0251  
発行/平成22年8月30日



## 時はいま

弁政連 大阪支部  
支部長 高階 貞男

○月11日の参議院通常選挙は昨年の総選挙とは逆の野党勝利の結果となりました。昨年8月の総選挙での政権交代から僅か10ヶ月でのこの大きな変化から見えてくるものは、日々流される膨大な情報にとまどっている国民の姿です。今こそ、何が本質的で重要な問題なのか判断することが必要になっているように思われます。そうでなければこの国は妙なところに漂着してしまうのではないかと心配です。

話は変わりますが、国交省は8月6日、日本を代表するハブ（拠点）港湾に阪神、京浜の両港湾を選定したと発表しました。これによると国交省は岸壁整備の予算配分や固定資産税の減免措置などで阪

神、京浜の両港湾を助成し、釜山、上海、シンガポール等アジアの巨大港湾との競争に乗り出すのだそうです。遅きに失した感はありませんが、政治の決断により、ハブ港湾を二つに絞り、助成に乗り出した意義は大きいと思います。特に地盤沈下が続く関西にとって、中国をはじめとするアジアとの経済関係の構築が重要になっているこの時期に、これまで生かしきれずに来た大阪湾岸地域が脚光を浴び始めたことの意味は相当に大きく、関西復権のターニングポイントになり得るのではと期待されます。あとは地方自治体がうまく機能することが大切です。今度こそ関西の地方政治に携わる人達が大局を誤らぬよう尽力して貰いたいものです。

弁政連は、業界の利益代表などではなく、我が国社会にとって、重要なことは何なのかを考え提言し得る団体でありたいと思います。そして、そんな議論をする中から、本物の政治家が出て来るようなお結構であります。来年4月には統一地方選挙が、数年のうちには国政選挙があります。弁政連もいよいよ正念場を迎えようとしています。



## 弁護士政治連盟に期待する

大阪弁護士会  
会長 金子 武嗣

弁護士政治連盟の動きがますます本格化し、影響力を発揮し始めてきた・・と私は思う。

梶谷剛理事長ならびに鈴木善和幹事長は、今年度4月当初から精力的に政党との朝食会を主催された。宇都宮執行部は、この政党との朝食会に出席し、①司法修習費用給費制維持と、②司法予算拡大、特に15億円にものぼる日弁連の委託事業の実態を説明し、扶助予算の拡大を訴え続けた。4/28 民主党、5/14 自民党、5/21 公明党、6/1 社民党、6/3 共産党、6/9 国民新党と、各党に2つの課題を一貫して訴え続けた。私が訴え続けた司法修習費用給費制維持については、当事者である司法修習生の悲痛な訴えもあり、法科大学院の学生の経済的負担の重さ、司法試験合格者の約半数が奨学金などによる借金をかかえ、借金の額が最大で1200万円、平均でも338万円にのぼるといふ悲惨な実態につき、各政党の多くの議員の理解を得ることができた。その後の国

会の議員廻りにどれだけ力になったかわからない。

弁政連は、他士業の政治団体と異なり、単に士業の權益を守るという団体ではない、社会のために活動している、と私は思っているし、議員にもそのように受けとめられている。今、弁護士会の政策をいかに政治の中で現実化していくか、そこが問われている。その推進力となるのが弁政連である。

大阪でも給費制維持の国会議員要請で、大阪支部の高階貞男支部長、福原哲晃幹事長から大阪府下選出の国会議員への要請をしてもらった。そのため、中央でもスムーズに議員要請ができている。このような影響力を発揮することこそが、支部の力量を知らしめることになる。各地で大阪のような活動がなされていると聞いている。

また、弁護士出身の議員が増えている。3つの政党の党首、すなわち自民党の谷垣禎一総裁、公明党の山口那津雄代表、社民党の福島みずほ党首も弁護士出身である。

また、昨年度の宮崎誠日弁連会長も推進されて、各党の政策秘書に多くの若手弁護士が就任していった。この若手が、感受性の鋭い時期に、政治という法が絡むが司法とは異なる世界に接し、今後どのように成長していくかも楽しみである。

これからの政治は変わる。弁護士が活躍する時代になってくる。いよいよ弁政連の本格的出番となった。





## 弁政連の組織と活動

弁政連大阪支部 幹事長 福原 哲晃

日本弁護士政治連盟は、日弁連内に事務局（専従スタッフ1名）を置き、梶谷副理事長、鈴木善和幹事長の下、21名の副理事長、11名の常務理事、29名の理事で運営がなされています。重要事項は月1回開かれる常務理事会で審議され、毎年5月、理事会と定期総会が開催されます。企画、組織強化、広報、総務、財務の5委員会があり、企画委員会では、国会議員や大臣、政党幹部等との朝食会や懇談会を企画し実施しています。弁護士政策秘書の採用もこの企画委員会で提案され実現いたしました。また、衆・参議院の選挙の際には、「日弁連の政策及び諸活動に理解と協力が得られると認められる」方を推薦し、推薦状をお渡ししています。この推薦にあたっては、各支部からの推薦も可能で、7月の参議院議員選挙では、大阪支部が推薦し

た2名の候補者を含め39名の候補者が推薦され、内24名が当選されました。その結果、弁政連推薦の参議院議員は40名、衆議院議員は91名となっています。

現在、支部は30程あり、この9月には島根県支部、12月には和歌山支部が設立される予定です。東京は三会で「東京本部」を設置しています。そして、各支部は、政治資金規正法上それぞれ独立した政治団体として都道府県選挙管理委員会に届出を行っています。

さて、来年春には統一地方選挙が予定されていますが、弁政連は、地方議会に若手弁護士を送り出すべく行動を開始しつつあります。

大阪においても、府議会や市議会に弁護士議員が沢山誕生することを大いに期待しております。

### 弁護士政治連盟について思う

● 平野 恵 穂

私は弁理士登録をしている。弁理士会からの毎月の送付物には、必ず、弁理士政治連盟の機関紙「弁政連フォーラム」が入っている。組織率は高く、設立は1971年らしい。ニュースの内容も、「弁理士制度推進議員連盟」ができたと意気軒昂である。選挙でも、弁政連推薦の候補者の葉書がたくさん届く。

わが弁政連。設立は1959年だが規約ができたのはようやく1997年。また、人権活動や司法改革など日弁連の活動に沿う法案を幅広くお願いしているから、業界団体としての迫力はない。組織率も悪い。選挙でも、人を出したり、葉書を書いたりしない。誰かが言った、票も金もない団体だ、と。

ただ、そのわりには力があるらしい。自らの利害によらずよいことを言う、という安心感からだという。その実力を伸ばせば弁政連にも政治家にもよし。そのためにせめて会員を増強したいところ。皆さん、入会を、そして、既会員は入会勧誘をよろしくお願いします。

● 安若 多加 志

昨年から入会させていただいた。

「弁政連」という言葉を知ったのは、数年前、私の住む市の長に若手の弁護士が立候補されたので、その応援を当時の大阪弁護士会の理事者をお願いしたときである。理事者からは、「それは弁政連の仕事だ」というものだったが、私はその組織に出会うことができなかった。

弁政連ニュースを読むと、近年、弁護士が政界やその周辺に進出していることや、「永田町」が国の制度設計をする際に日弁連の反応を気にする傾向にあることを知った。

他方、弁政連が日弁連の活動を側面から支援する有意な組織であるにもかかわらず、ほとんどの弁護士にその活動はもとより、存在すら知られていない。弁護士に向けた対内的広報が必要だと思う。まずは、弁護士会の理事者経験者や弁政連の理事者らが、その属する法律事務所（弁護士法人）等の身近なメンバーに、弁政連の宣伝と加入依頼を本気で進めていただければ、自然と、弁政連の名が知られることになると思う。

● 久保 井 聡 明

昨年の政権交代以来、日本の政治は混沌とした状態にある。あれだけ勢いのあった民主党や菅総理も国会で大汗をかかされている。司法や弁護士を巡る問題についてもいささか迷走気味だ。こんなときの政治との距離の取り方は難しい。昨日までの有力者が明日の有力者とは限らない。そうであれば、弁護士政治連盟は王道を歩むべきだ。全方位的に、司法や弁護士の未来について自らの信じることを語り、議論すべきと思う。今、弁護士は大変厳しい状況に置かれている。しかしそうだからと言って、国家100年の計として始めた司法の大改革の歩みを簡単にストップしてよいのか。これまでの、狭い「法廷弁護士」だけの殻にとどまっていた良いのか。弁護士はもっともっと社会で活躍の場を見いだせるはずだ。そのことを地道に、国会議員をはじめとする政治家に理解してもらい、大きな意味で制度改革を行っていくこと、これこそが弁護士政治連盟に求められることと思う。





定期総会



勉強会



## 平成22年度の活動報告と 今後の予定

弁政連 大阪支部 副幹事長 藤原 誠

- 平成22年4月9日に坂井良和大阪市議（修習29期・弁護士）を招いての勉強会（「地方政治を変えよう 弁護士の参加で」）を開催した。坂井市議からは、地方政治の現状及び地方議員の活動のご紹介があり、来年の統一地方選挙において、法律の専門家である、多くの弁護士が立候補・当選して、停滞している地方政治を是非活性化してもらいたいとお話があった。参加者は、62期3名を含む23名であった。
- 同年4月16日に理事会を、また5月21日に定期総会を開催した。定期総会では規約の一部改正や役員の選任等に関する事項が審議された。
- 同年6月11日に臨時理事会を開催して、今般の参議院選挙立候補者の本部への推薦者を決定した。
- 同年7月20日に大阪弁護士会の執行部と弁政連大阪支部の執行部との懇談会を開催し、弁護士会が取り組んでいる喫緊の課題について意見交換を行った。
- 今後は政策秘書との懇談会や弁政連出身の若手の衆議院議員との懇談会の開催を予定している。



## 入会のご案内

# 日本弁護士政治連盟(弁政連)は

日弁連の政策実現をめざして行動します。

各政党との懇談会を開催します。

国会議員との意見交換や政策提言を継続的に行います。

若手が参加できる勉強会や楽しい企画を実施しています。

政治活動をしますが、政治におもねません。

あなたも、弁政連に入会しませんか。

## 弁護士登録5年未満の会員は会費が無料です。

- 1 日本弁護士政治連盟（略称「弁政連」）は、政治資金規正法第3条の「政治団体」です。日弁連の政策を、国会議員や政党の理解と支持を得つつ、立法というかたちで実現していく幅広い活動を行っています。「政治資金団体」と異なり、特定の政党を支持するものではありません。
- 2 弁政連は、任意に加入した弁護士の会員のみで組織され、運営は原則として会員の会費によって行われています。
- 3 弁政連には、都府県単位、ブロック単位の支部があり全国で活動しています。現在支部のない地域には支部を設立する活動を積極的に行っています。
- 4 弁政連の会員の（本部）会費は年間1万円です。ただし、弁護士登録5年未満の会員は「無料」です。なお、弁政連（本部の）会員となりますと、支部のある地域の会員は支部の会員ともなります。支部の会員は支部の規約に基づき別途支部の会費を納めていただきます。（大阪支部の年会費は5,000円です。）

## 日本弁護士政治連盟入会申込書

私は、日本弁護士政治連盟に入会したく申し込みます。

平成 年 月 日

日本弁護士政治連盟 行

申込者

【氏 名】

【所属弁護士会】

【登録番号】

FAX送信先 **03-3580-9976**